

平成 29 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	柳津児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市柳津町丸野1丁目34番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	18,313,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち2階部分 ◇敷地面積:2,698.00㎡ ◇延床面積:681.55㎡ ◇施設内容:事務室、遊戯室兼大集会室、幼児室、図書室、創作活動室、駐車場 ※留守家庭児童会開設場所		

●利用状況

		H29下半年	H29上半期	H28下半年	H28上半期	H27下半年
利用者数 (単位:人)	来館者数	16,831	17,613	18,794	21,277	16,812
	移動児童館利用者数	661	839	1,403	480	986
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	22	16	25	16	21
	開館日数(単位:日)	143	149	144	150	145

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①今年度より、他館と同様に変更 ②所長(本務)、常勤職員(児童厚生員)1人、非常勤職員(児童厚生員)2人 ③おたより「わんぱくっこ」を小学校に配布、「幼児用予定表」を保健センター及び公民館に掲示 ホームページの活用 ④利用者アンケート(幼児の保護者、小中学生)の実施 ⑤計画通りに実施
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①仕様書通りに実施 ②毎日の清掃、障がい者就労支援事業清掃班による清掃、業者によるカーペット清掃を実施 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等、節電と節水を実施、工作には廃材を利用している ④破損した玩具については、「おもちゃ病院」の協力を得ている
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①軽修繕においては、運営主体に依頼 ②大規模な修繕については、岐阜市に要望を提出
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアルに沿って適切に実施 ②消防訓練を1回実施

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 平成30年3月 保護者(一般来館・クラブ参加)の108人にアンケート(無記名)を実施。 回答者数108人(100%) 【小・中・高校生用アンケート】 平成30年3月 来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者数30人(小学:1年7人、3年4人、4年9人、5年1人、6年5人、中学:1年1人、2年3人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>〈保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート〉 【校区】 柳津(35%) 茜部(19%) 鶉(16%) 市外(12%) 市橋(7%) 且格(6%) 鏡島(2%) その他(3%) 【性別】 男(0%) 女(100%) 【年齢】 10代(0%) 20代(14%) 30代(75%) 40代(11%) 50代以上(0%) 未記入(0%) 【利用頻度】 初めて(0%) ほぼ毎日(1%) 週2~3回(11%) 週1回(21%) 2週間に1回(66%) 月1回(7%) 【来館相手】 子・孫(100%) 友人(0%) その他(0%) 【来館方法】 徒歩(5%) 自転車(4%) 自家用車(91%) その他(0%) 【何で知った】 ホームページ(33%) 広報紙・チラシ(14%) 学校(3%) 知人・友人(44%) その他(6%) 【評価】 (あいさつ).....満足(78%)、ほぼ満足(18%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい).....満足(76%)、ほぼ満足(19%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(1%) (利用者対応).....満足(70%)、ほぼ満足(20%)、普通(9%)、やや不満(0%)、不満(1%) (利用しやすさ)....満足(50%)、ほぼ満足(35%)、普通(12%)、やや不満(3%)、不満(0%) (整理整頓).....満足(58%)、ほぼ満足(31%)、普通(11%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感).....満足(51%)、ほぼ満足(32%)、普通(16%)、やや不満(1%)、不満(0%) (換気).....満足(46%)、ほぼ満足(29%)、普通(24%)、やや不満(1%)、不満(0%)</p> <p>〈小・中・高校生用アンケート〉 【性別】 男(57%) 女(43%) 【学校名】 柳津小学校(87%) 境川小学校(13%) 【学年】 小学:1年(24%)、2年(0%)、3年(13%)、4年(30%)、5年(3%)、6年(17%)、 中学:1年(3%)、2年(10%)、3年(0%)、高校:1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】 初めて(0%)、毎日(0%)、週4・5回(0%)、週2・3回(27%)、週1回(70%)、その他(3%) 【来館相手】 ひとり(27%)、友人(53%)、父母(13%)、親戚(0%)、その他(7%) 【来館方法】 徒歩(10%)、自転車(63%)、自家用車(27%) 【好きな遊び】 ドッジボール(27%)、バドミントン(27%)、なわとび(11%)、卓球(9%)、 カロム(7%)、マンカラ(7%)、その他(12%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望⇒回答 ○駐車場が広いと嬉しい。→いつもご不便をお掛けして申し訳ありません。複合施設のため、たくさんの方がご利用されます。満車の時はカラフルタウンをご利用下さい。よろしく願います。 ○幼児クラブの日以外にも食事ができるとうれしい。→現在、老人センターのスペースをお借りしているので、火・木以外の日は講座スケジュールの都合で困難です。ご理解、ご協力をお願いします。 ○(クラブが)毎週あるといい→1才、2才以上共に60組を超える方が申し込みをいただいたので、2つのクラスに分けざるを得ない状況になりました。他の曜日も行事が入っておりますので、人数が多い場合は隔週になります。ご理解をお願いします。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>○新事業として、「自主学習会」を実施した。小学生が自主的に宿題等を持ち寄り、図書室で勉強をした。下半期で、18日間 小学生27人、中学生6人の37人が実施した。 ○当館の職員だけでなく、多勢の講師の先生やボランティアの方々の協力を得て、乳幼児親子を対象とした行事を、毎月約20回実施した。リトミック・体操・ヨガなどの申し込みが必要なものは、毎回定員を超える希望者があり、大変喜ばれた。希望者多数により、定員を20人から25人に増やした。 ○毎年恒例の「児童館まつり」を実施した。小学生ボランティアだけでなく、地元の大学生サークルの活躍のおかげでたくさんの方々が参加し、大盛況に終わることができた。また、地域女性部の皆さんの協力の下、「うどんコーナー」を実施することができた。 ○地域の大きな行事である「凧揚げまつり」の実行委員として携わり、材料の手配、申込み受付、作り方の指導を受け持った。準備の段階から商工会、青年団、小学校PTAの方々と連携をとることができた。 ○併設の高齢者福祉センターとの合同行事で、「ぜんざい会」を実施し、乳幼児親子さんとお年寄りとのふれあいの時間が持てた。 ○来年度開催を検討していた「骨盤体操」のお試しとして、体験を実施し好評で来年度期待が持てそうである。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>○ご意見を頂いた「父親向けの子育て支援」は、平成25年度から毎月1回、生後2ヶ月～12ヶ月の乳児と父親を対象に「お父さんのためのベビーマッサージ」を実施している。参加人数はそれほど多くはないが、リピーターが多く繰り返して参加をして下さる方が多いので、今後も継続していく。 ○高齢者・児童クラブとの併設である利点を活かし、高齢者と小学生や幼児の親子がふれあえる行事、一般利用の児童と児童クラブの児童と一緒に参加できる行事を積極的に取り入れた。(ぜんざい会・映画会・簡単工作など) ○社会福祉事業団や岐阜県児童館連絡協議会が主催する研修会に参加し、他の職員に伝達をしお互いのスキルアップに努めている。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>児童館を運営していく上で3本柱に重点をおいて、引き続き事業を展開していく。 ○児童の健全育成事業 ・児童館の特徴である、『意図的』ではなくても普通の遊びの中で異年齢の子と関わりが持てるという事を活かして、集団遊びの機会を増やすような行事を計画する。 ・一人で来ても、『児童館へ行けば、何か楽しいことがある』と子どもたちが思えるような場所になるよう目指していく。 ○子育て支援事業 ・乳幼児の利用が非常に多いので、現在実施している幼児クラブを中心に、リトミックや英語などバラエティーに富んだ行事を計画する。それに加えて、新規事業として「骨盤体操」を実施し、一層の利用者増に努める。そのような機会を通して、子ども同士だけでなく、母親にとっても友達作りの場所となるような活動を実施していく。 ○地域組織活動事業 ・地域の各種団体が関わる行事に、メンバーとして要請される機会が多い。 今後も、校区の小学校を初めとする団体と、連携を密にとりながら、お互いに協力しあっていく。 ○移動児童館の対象団体の拡張 ・新しく移動児童館が実施できるように小学校等に呼びかける。</p>

●所管課の意見

<p>○毎月の「おたより」を小学校に配布したり、幼児用の行事予定表を保健センターや公民館に掲示したほか、ホームページで事業を紹介するなどの広報周知を行った。 ○移動児童館上半期16回、下半期22回の計38回開催し、目標数値の24回／年を達成。 ○新規事業のPRを兼ねて「骨盤体操」の体験教室を開催し、多くの参加者があったことから、今後來館者の増加に期待したい。 ○高齢者福祉センターと合築である特性を活かして「ぜんざい会」などを合同実施し、両施設の利用者の交流を図る行事を継続して行った。 地域の行事である「凧揚げまつり」の実行委員として参加した一方、「児童館まつり」では大学生サークルや小学生ボランティアをはじめ、地域の諸団体が児童館の行事に積極的に参加協力しており、地域との強い協力関係の構築ができています。 ○台風の接近や降雪が続いたが、所管課との連絡調整による閉館・休館等の適切な対応と、利用者や学校への事前通知など自発的な安全対策により、利用者の安全を確保し、事故無く管理運営を行ったことを評価したい。 ○職員体制や運営状況については問題なく行われている。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>地域特性として、地元住民が行事に積極的に協力される環境が素晴らしい。 今後もこの特性を活かし、地元住民と協力体制を大切に運営を続けていただきたい。 管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
